

平成28年3月30日
富山県警察本部

火山災害対策の取組について

1 装備資機材の整備

噴火災害においては、火山性ガスや土石流、再噴火による噴石の飛来、高山病や低体温症等多くの危険と常に隣り合わせであり、極めて過酷な現場となることから、有害な火山ガス等に対応した装備資機材を整備した。

県 費	国 費
火山性ガス対応マスク(18)	火山性ガス対応マスク(100)
マスク用吸収缶(18)	マスク用吸収缶(300)
火山性ガス検知器(2)	火山性ガス検知器(2)
避難者用ろ過式吸収用保護具(20)	携帯型スコップ(100)
避難者用ヘルメット(20) 等	ロールアップストレッチャー(10)
	※全国24都道県警察に同数を配分



ロールアップストレッチャー

2 火山専門家を「富山県警察災害対策アドバイザー」に委嘱（平成27年6月30日）

火山災害対策等を強化するため、災害対策アドバイザー制度を構築し、富山大学大学院理工学研究部渡邊了教授を委嘱した。

災害対策アドバイザーの助言・指導の下、災害警備計画の策定、災害警備訓練の実施及び研修会の開催を通じ、火山災害への更なる備えを充実させる。



3 火山災害対策研修会の開催（平成27年7月10日）

火山等に関する専門的な知識を習得し、迅速的確な災害警備活動に資することを目的に、渡邊教授を講師に火山災害対策研修会を開催。機動隊員や山岳警備隊員等90名が受講した。



4 火山ガス安全対策緊急訓練への参加（平成27年10月1日）

立山の地獄谷で火山ガス濃度の高い状態が続いていることを受け、立山室堂地区安全対策連絡協議会が主催する訓練に参加し、消防等関係機関との連携体制を確認した。



ガスで体調を崩した登山者の救助訓練